

The background of the top half of the page is a black and white photograph of several business professionals sitting around a long table in a modern office setting, with a city skyline visible through large windows in the background. The text is overlaid on this image.

事業として一貫した戦略を明確にし、 機能横断の連携体制や組織風土を醸成する

機能横断・事業一貫戦略 コンサルティング

詳しいご内容・お打ち合わせをご希望の場合は、
下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先：
株式会社日本能率協会コンサルティング
ビジネスイノベーション本部

お問い合わせフォーム：<https://www.jmac.co.jp/inquiry/reply/contact.html>
お問い合わせ番号：03-4531-4307



お問い合わせフォーム

このような課題はありませんか？

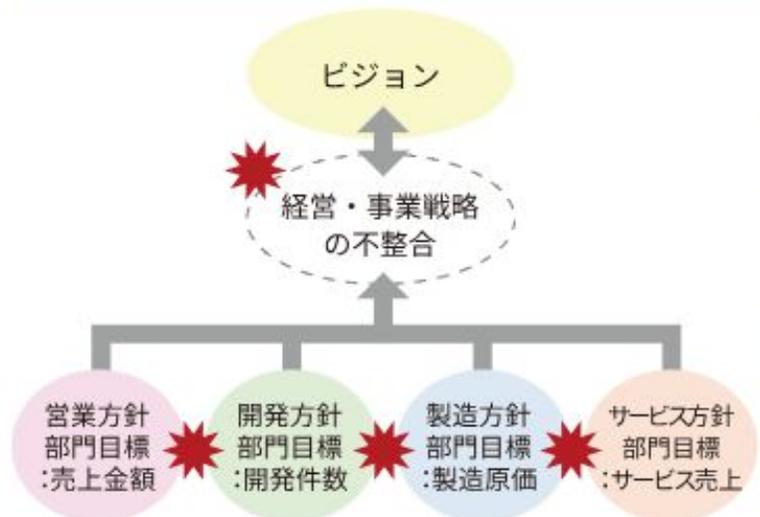
- 機能部門の年度計画の積み上げが事業計画になっている
- 機能部門の縦割りが強く、部門間の連携が機能していない
- 機能部門最適になっており、場視点・顧客視点が欠落している
- 機能部門最適の結果、付加価値を上げる事業戦略が描けない
- 長くトップダウン経営の歴史があり、受け身体質になっている



事業として一貫した戦略を明確にし、
機能横断の連携体制や組織風土を醸成する！

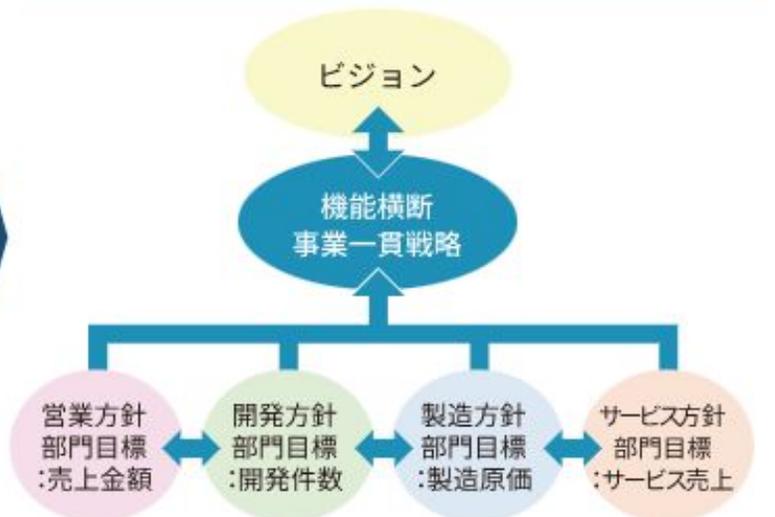
このような課題はありませんか？

現状：機能個別の積み上げ



- ・製造原価が高いから失注していると思っている
- ・(儲かる市場ではなく、)レッドシャンの大きな市場に着目している
- ・顧客の個別要求対応に必死になっている
- ・可能性の低くなったテーマをやめられない
- ・常に開発納期に追われている
- ・とにかく現場では日々改善を行い、原価低減を図っている
- ・生産性が低下しても、納期には柔軟に対応している
- ・顧客クレーム対応に忙殺されている
- ・無料サービス対応ばかりに時間がかかっている
- ・明確な組織体制がない。

ありたい姿：機能横断・事業一貫



- ・マーケティング機能があり、成長性と収益性を認識している
- ・注力分野の方針を明確にし、組織体制を強化している
- ・ターゲット市場を定め、製品コンセプトを明確にしている
- ・リソースを考慮し、継続可否の判断が行われている
- ・事業特性を理解し、ものづくりのあり方・コア技術を明確にしている
- ・部門連携した改善に取り組んでいる
- ・ビジネスモデルとしての位置づけを明確にしている
- ・ライフサイクルで事業を捉え、収益性を管理している

JMACのコンサルティングの特徴

日本の製造業は、事業部門と本社、経営と現場、営業・開発・製造間で課題認識に大きなGAPがあります。

具体的には、

- ビジョン・中期計画を策定したものの、各部門でその後の活動が見えない。展開されない。
- 開発部門は市場のニーズが分かっていない。
営業が値引するから儲からない。製造のリードタイムがやたら長い。
- エンゲージメントサーベイを実施したものの、コーポレート部門の課題認識にとどまり事業部門に広がらない。
などが、本当によく見られる現象です。

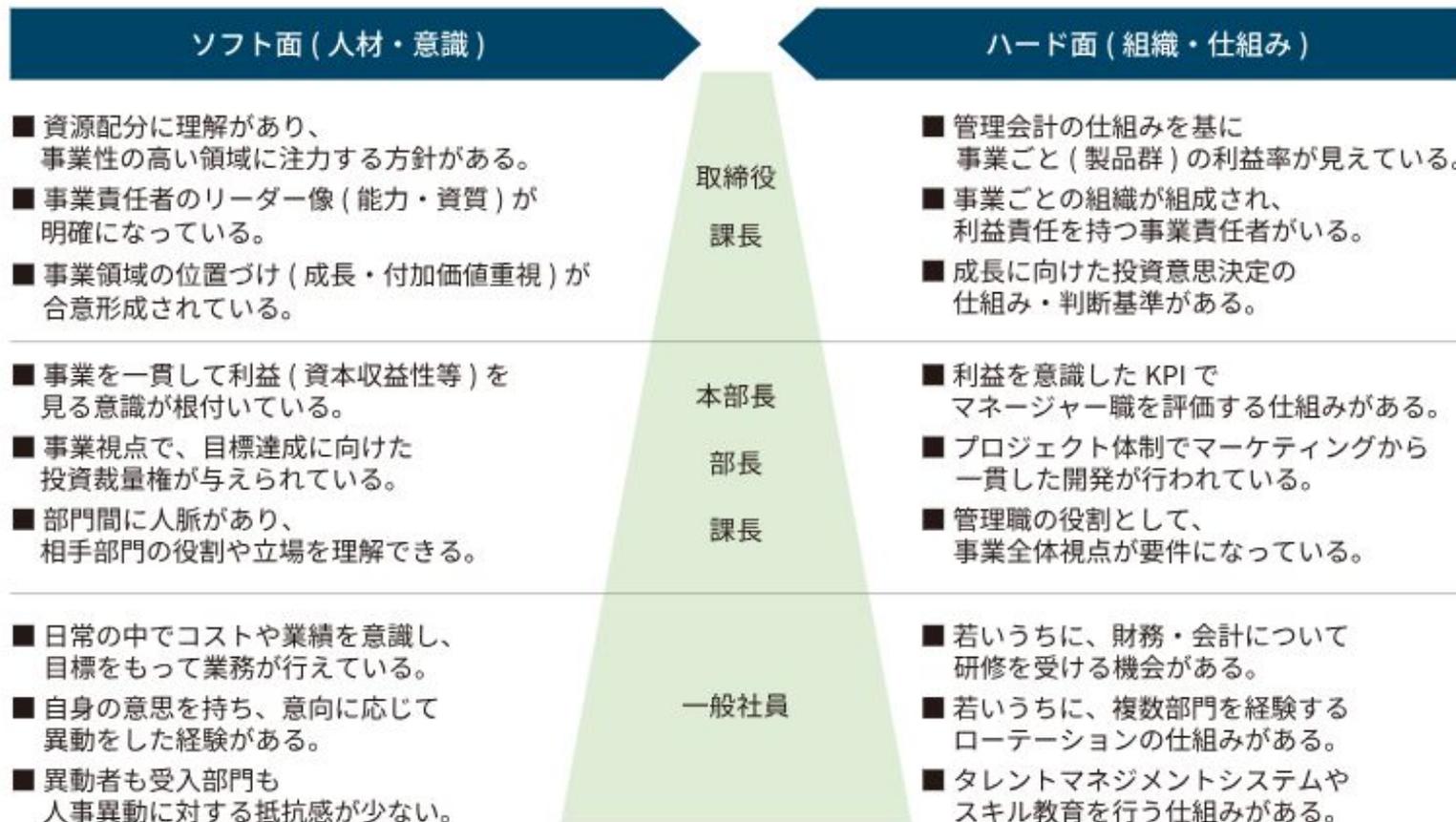
これらの背景には、

- 長らく続いてきたトップダウン経営
 - 機能最適に陥っている組織運営
 - 市場視点・顧客視点のない組織風土
 - 部門縦割りの育成・昇格制度
 - 単一部門の業務経験しかない人材
- といったことがあると考えられます。



JMACの 特徴

JMACは、日本一現場に詳しいコンサルティングファームであると自負しています。
機能横断・事業一貫型の組織風土を形成する意識改革・体質転換のご支援が可能です。



[【ビジョン・中期計画策定支援】
中期経営計画・事業計画コンサルティングはこちら](#)



1. 現状分析、課題認識

- 各役員の皆様とのヒアリングを通じて、役員の皆様のお考えを整理します。
- 実務メンバーのヒアリングを通じて、現状実態を認識します。
- 取り組むべき課題を明確にし、役員の皆様にご現状報告差し上げます。

2. 改革方針の明確化

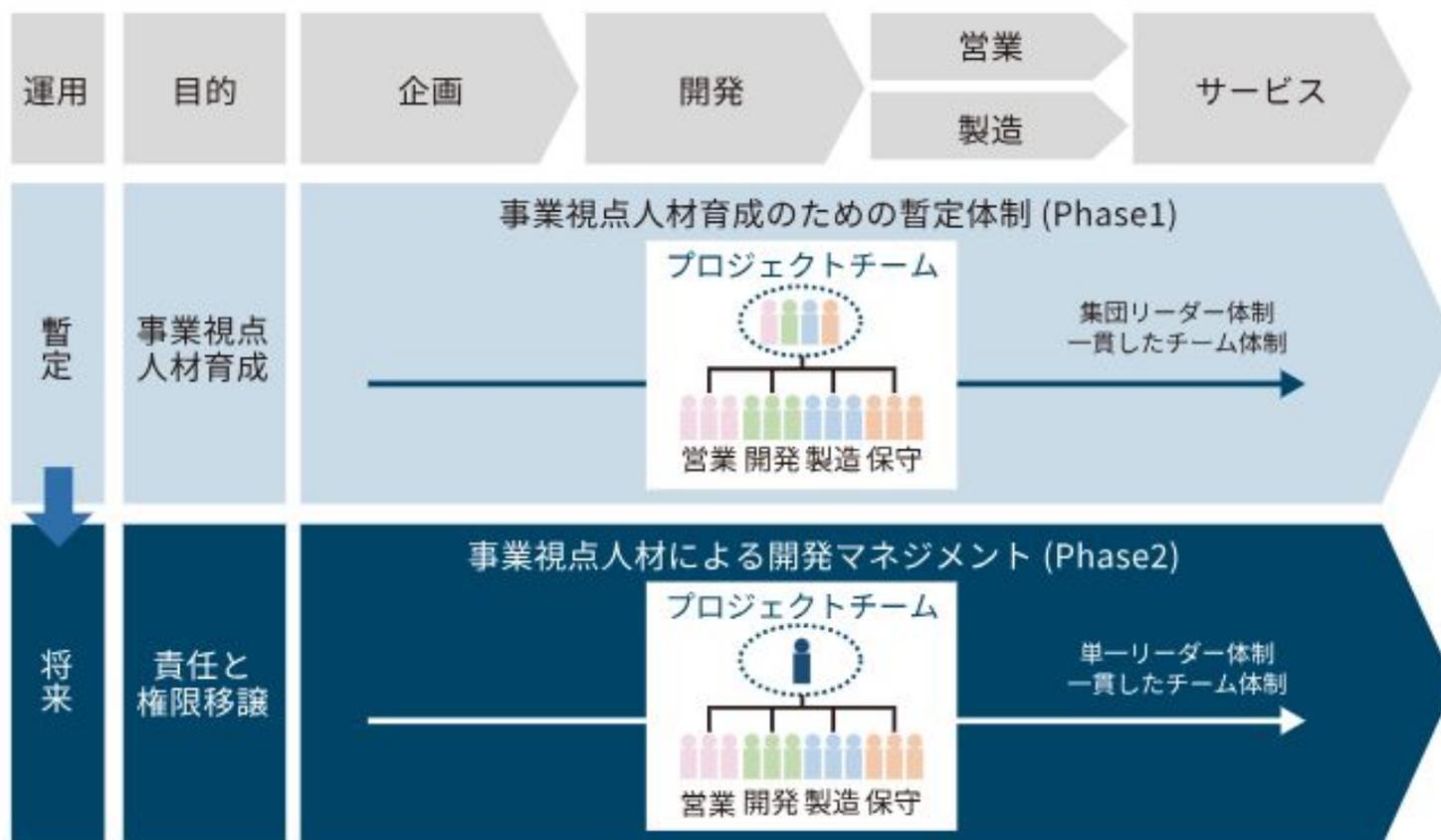
- 現状実態の共通認識を踏まえ、ありたい姿と改革方針を練り上げます。
- 事業のありたい姿実現に向けた改革ロードマップを明確に致します。
- 改革方針とロードマップを統合し、役員の皆様に進め方を提案致します。

3. 改革の実行

- 重要な改革テーマを選定し、進め方を具体化し、企画書にまとめます。
- テーマごとに、部門横断型の体制を構築し、リーダーを選定致します。
(テーマに精通する社内のメンバーを巻き込んで実行推進を支援致します。)

コンサルティングの進め方

機能横断・事業一貫戦略には、機能横断チーム組成と、責任と権限の移譲がポイント。



【技術・開発部門の組織・意識改革支援】
開発力強化コンサルティングはこちら



【昨今の潮流である人的資本経営】
人的資本経営コンサルティングはこちら



対象部門

- 役員
- 経営企画部門
- 事業企画部門
- 営業企画部門
- 開発企画部門
- 製造企画部門

Case

業界	工作機械業界
会社プロフィール	プライム上場工作機械メーカー
テーマ	主力事業における事業改革推進支援
背景	中国市場の影響を受け、主力事業の売上が大きく減少。トップダウンで指示しても、現場がついてこない。開発部門に投資対効果や顧客視点がなく、縦割りに組織風土が強い。
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none">● 開発プロセスの再構築、意識改革● 経営の意思決定の仕組み化● 事業企画部門の機能強化● アフターサービスを起点とした事業モデル改革

面談

貴社課題について理解し、JMACのアプローチの説明、ご提案の方向性についてご相談します。
必要に応じて、NDAをご準備します。
現場視察により理解を深めさせていただく場合もございます。

提案

お打ち合わせ内容を踏まえて、貴社課題に添ったコンサルティング計画提案書をご提示させていただきます。

契約

JMACご提案を採用いただきましたら、業務委託契約書の締結準備をさせていただきます。

実施

コンサルティングを実施スタートいたします。
キックオフを経て、

- 現状分析
- 関係者ミーティング
- 改善支援
- 推進報告会

を実施しながら課題解決に努めます。

お問い合わせ先：
株式会社日本能率協会コンサルティング
ビジネスイノベーション本部

お問い合わせフォーム：<https://www.jmac.co.jp/inquiry/reply/contact.html>
お問い合わせ電話番号：03-4531-4307